

- 問1 イギリスで始まった産業革命において、最初期に最も目覚ましい技術革新が見られた工業分野を次の中から選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 自動車工業 2. 綿工業 3. 化学工業 4. 鉄鋼業
- 問2 江戸時代初期、徳川家康が推進した朱印船貿易の影響で、東南アジア各地には多くの日本人が移住しました。その結果、タイのアユタヤなどに形成された日本人の居住地を何といいますか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
1. 出島 2. 会合衆 3. 日本町 4. 堺
- 問3 江戸時代、全国の都市や農村に広く普及し、庶民の子供たちが「読み・書き・算盤（そろばん）」といった実生活に役立つ知識を学んだ民間の教育施設を何といいますか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 適塾 2. 藩校 3. 寺子屋 4. 昌平坂学問所
- 問4 近世的那覇港を描いた屏風図には、海上に行く琉球王国の進貢船とともに、それを監視する薩摩藩の船が描かれ、琉球が二重の支配体制下で貿易を行っていた状況がうかがえます。薩摩藩が琉球を支配しながらも、中国との「進貢船」による貿易を継続させた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 琉球を完全に独立した国として認め、日本との関わりを断つため 2. 中国産の生糸や薬種などを入手し、それらを転売することで利益を得るため 3. キリスト教を広めるための拠点として、琉球を中国に開放するため 4. 鎖国を徹底するために、中国の船が日本近海に来るのを防ぐため
- 問5 江戸時代後期に作成された、実測に基づく精密な日本地図の製作過程やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 個人の自費による測量から始まったが、その精度が認められ、最終的には幕府の事業として継続された。 2. 西洋から輸入された最新の海図をそのまま模写し、地名を日本語に書き換えることで短期間で完成させた。 3. 各地の大名が幕府へ提出していた領内の絵図を、単にパズルのようにつなぎ合わせることで作成された。 4. 幕府が当初から莫大な予算を投じ、測量を専門とする武士たちだけで組織的に全国を一斉に調査した。
- 問6 江戸時代の天保の改革において、老中水野忠邦は物価の上昇を抑えるため、営業を独占していた商人らの組織に対してある命令を出しました。この政策の内容として正しいものはどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 株仲間の解散 2. 目安箱の設置 3. 棄捐令の発布 4. 公事方御定書の制定
- 問7 江戸幕府が長崎において、オランダや清（中国）との限定的な貿易体制を維持した目的と仕組みについて、説明として最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 布教を目的としない国に限定して貿易を許可し、幕府が海外の情報を独占するため 2. 諸藩が独自に中国と貿易を行うことを奨励し、各地の産業を発展させるため 3. ポルトガル人要請を受けて、オランダと中国の商人が長崎に常駐することを認めたため 4. 鎖国による国内の物資不足を解消するため、全国の主要な港をすべて開放して自由貿易を行うため
- 問8 徳川吉宗が実施した享保の改革では、目安箱の設置や町火消の組織化が行われました。これらの政策に共通する背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 貨幣の質を落とすことで流通量を増やし、江戸の物価高騰を抑制すること 2. 大名の財政を圧迫させ、幕府への反抗を抑えるために軍備を縮小させること 3. キリスト教を厳しく取り締まることで、幕府に対する民衆の忠誠心を高めること 4. 民衆の不満や提案を政治に反映させ、江戸の都市生活の安定と安全を確保すること
- 問9 城下町において、城の周囲を堀で囲んだり、武士の住む場所（武家地）と町人の住む場所（町人地）を厳格に区分けしたりした背景にある目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 町人地を城から遠ざけることで、商工業者による一揆が起きた際に城への被害を最小限に抑えるため 2. 有事の際に敵の侵入を遅らせるとともに、身分制度に基づいた統治を円滑に行い、都市の防御力を高めるため 3. 城下町全体の衛生環境を保つために、生活用水を確保する堀の近くには武士以外の居住を禁止するため 4. 参勤交代で江戸へ向かう際、大名の行列が町人地の中心を通ることで、幕府の権威を農民に広く示すため
- 問10 江戸幕府がとった対外政策、いわゆる「鎖国」のもとでは、四つの窓口を通じて特定の国や地域との交流が行われていました。このうち、長崎の窓口において中国（清）やオランダと取引が行われていたのに対し、朝鮮との外交や貿易を専門に担当していた藩はどこですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 松前藩 2. 長州藩 3. 薩摩藩 4. 対馬藩
- 問11 江戸時代後期、ロシアなどの外国船が日本近海に現れるようになったことで、幕府の対外政策は変化していきました。1825年に出された「異国船打払令」の背景や内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. ペリーの来航を受け、それまでの鎖国政策を維持するために、すべての外国船との交渉を拒否することを改めて決定した。 2. ロシア使節ラックスマンの来航などを経て、日本近海に現れる外国船を、理由を問わず砲撃して追い返すという強硬な姿勢を示した。 3. 隣国の清がアヘン戦争で敗北したことを受け、外国船に対して燃料や水を与えるなどの柔軟な対応をとるよう方針を転換した。 4. 間宮林蔵が樺太が島であることを確認した結果、北方領土への外国人の立ち入りを一切禁止し、武力による開拓を優先した。
- 問12 秋田藩の鉱山で生産された銅が、わざわざ大阪を経由して長崎まで運ばれた理由として、当時の貿易制度と物流の仕組みの観点から最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 大阪は全国の年貢米が集まる場所であり、銅を米と交換して輸出する仕組みだったため。 2. 長崎が、清やオランダとの貿易が許可された唯一の窓口であったため。 3. 大阪に貨幣を鑄造する「銀座」が設置されており、全ての銅を貨幣に変える必要があったため。 4. 長崎は朝鮮との外交窓口であり、銅は朝鮮通信使への贈り物として扱われたため。
- 問13 18世紀後半のイギリスで始まった、ワットによる蒸気機関の改良や、工場に機械を導入して大量生産を行う「工場制機械工業」の成立によって引き起こされた、社会や経済の劇的な変化を何と呼びますか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 宗教改革 2. 市民革命 3. 農業革命 4. 産業革命

答え合わせ・解説

問1	答え 2 綿工業	イギリスの産業革命は、まず綿糸を作る紡績機や綿布を織る力織機などの発明が相次いだ綿工業から始まりました。これにより安価な綿製品を大量に生産できるようになり、イギリスは「世界の工場」と呼ばれるほどの経済力をつけることとなりました。
問2	答え 3 日本町	朱印船貿易が活発になると、多くの日本人が東南アジアへ渡り、現地の港町などに日本人の集団居住地である「日本町」が作られました。ここでは日本独自の風習が維持されるとともに、現地の王室に仕える有力な日本人も現れました。出島は後に長崎に作られたオランダ貿易のための人工島であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 3 寺子屋	江戸時代には、僧侶や浪人、名主などが教える民間の教育施設が発達しました。ここでは身分を問わず庶民の子供たちが学び、当時の日本の識字率を世界的に見ても高い水準に押し上げる要因となりました。一方、藩校は諸藩が家臣の子弟を教育するために設けた施設であり、昌平坂学問所は幕府の直轄学校です。
問4	答え 2 中国産の生糸や薬種などを入手し、それらを転売することで利益を得るため	薩摩藩は琉球を支配下に置きましたが、琉球が中国と貿易を行う権利をあえて維持させました。これは、当時非常に価値が高かった中国産の生糸や漢方薬などの品物を琉球経由で手に入れ、それを日本国内で販売することで多額の利益を得るためでした。当時の江戸幕府も、この貿易から得られる利益を把握した上で、薩摩藩による琉球を通じた対中貿易を認めていました。
問5	答え 1 個人の自費による測量から始まったが、その精度が認められ、最終的には幕府の事業として継続された。	もともとは私的な学問的探究心から始まった蝦夷地（北海道）の測量でしたが、その成果が正確であったため、幕府は北方警備（国防）の観点からも地図の必要性を認め、国家事業として採用しました。歩幅を一定に保つ歩測や、天体観測による緯度の確認など、当時の科学的知見を総動員して全国各地の海岸線を実測した点が最大の特徴です。
問6	答え 1 株仲間の解散	水野忠邦は、特権商人である株仲間が流通を独占していることが物価高騰の原因であると考え、自由な取引を行わせて物価を下げるために株仲間の解散を命じました。しかし、かえって流通が混乱し、経済は悪化する結果となりました。「目安箱の設置」や「公事方御定書の制定」は享保の改革（徳川吉宗）、「棄捐令の発布」は寛政の改革（松平定信）で行われた政策です。
問7	答え 1 布教を目的としない国に限定して貿易を許可し、幕府が海外の情報を独占するため	幕府は幕藩体制の維持と安定を最優先とし、キリスト教の布教を伴うスペインやポルトガルを排除する一方で、貿易のみを目的とするオランダや中国（清）との取引を長崎に集中させました。これにより、貿易の利益を幕府が管理するだけでなく、オランダ船が持参する「オランダ風説書」などを通じて、海外の情勢を幕府が独占的に把握する仕組みを作り上げました。
問8	答え 4 民衆の不満や提案を政治に反映させ、江戸の都市生活の安定と安全を確保すること	吉宗は目安箱を通じて広く民衆の意見を募り、それに基づき町火消を編成して火災対策を強化するなど、都市住民の生活安定を図りました。これは、幕府の権威を保ちつつ、実情に即した社会制度の構築を目指した結果といえます。
問9	答え 2 有事の際に敵の侵入を遅らせるとともに、身分制度に基づいた統治を円滑に行い、都市の防衛力を高めるため	城下町の構造には、軍事と政治の双方が深く関わっています。堀は物理的に敵の進軍を妨げる役割を果たし、身分ごとに居住地を分けることは、いざという時の命令系統の維持や、階級による役割分担を明確にすることを目的としていました。このような都市計画は、大名による領国支配を安定させるための基盤となりました。
問10	答え 4 対馬藩	江戸幕府は、完全に国を閉ざしていたわけではなく、特定の窓口を通じて外交・貿易を統制していました。対馬（現在の長崎県）を拠点とする対馬藩の宗氏は、中世以来の歴史的経緯から、幕府に代わって朝鮮との国交の窓口を担いました。これにより、朝鮮からは朝鮮通信使が来日し、日本の銀と朝鮮の生糸などが取引されました。
問11	答え 2 ロシア使節ラックスマンの来航などを経て、日本近海に現れる外国船を、理由を問わず砲撃して追い返すという強硬な姿勢を示した。	18世紀末にロシアのラックスマンが根室に来航して以降、イギリスやアメリカの船も日本近海に頻繁に現れるようになりました。これに対し幕府は、1825年に異国船打払令（無二念打払令）を出し、日本に近づく外国船を無条件で追い払うという排他的な方針を打ち出しました。選択肢にあるアヘン戦争後の対応は、逆にこの方針を緩和した「薪水給与令」の説明であり、時系列が異なります。
問12	答え 2 長崎が、清やオランダとの貿易が許可された唯一の窓口であったため。	江戸幕府は対外貿易を厳格に管理しており、清（中国）やオランダとの取引は長崎の1港に限定されていました。そのため、全国各地の鉱山で採掘された銅は、当時「天下の台所」として物流の中心地であり精錬技術も発展していた大阪に一度集められ、そこから輸出港である長崎へと船で運ばれる体制が整えられていました。
問13	答え 4 産業革命	イギリスの綿織物工業における技術革新を端緒として、石炭を燃料とする蒸気機関が動力源として普及しました。これにより、それまでの手作業中心の生産から、機械を用いた大規模な工場生産へと移行し、経済構造や人々の生活様式が根本から変わることとなりました。